

平成 3 1 年度当初予算（案）における  
教育・子育て等に関連する新規・充実事業  
（抜粋）

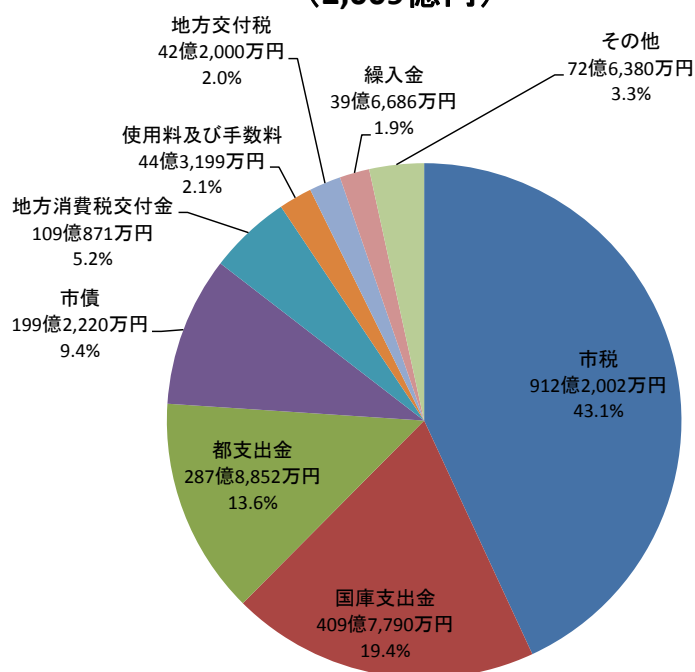
# 平成31年度（2019年度）予算（案）の概要

## 1 予算規模

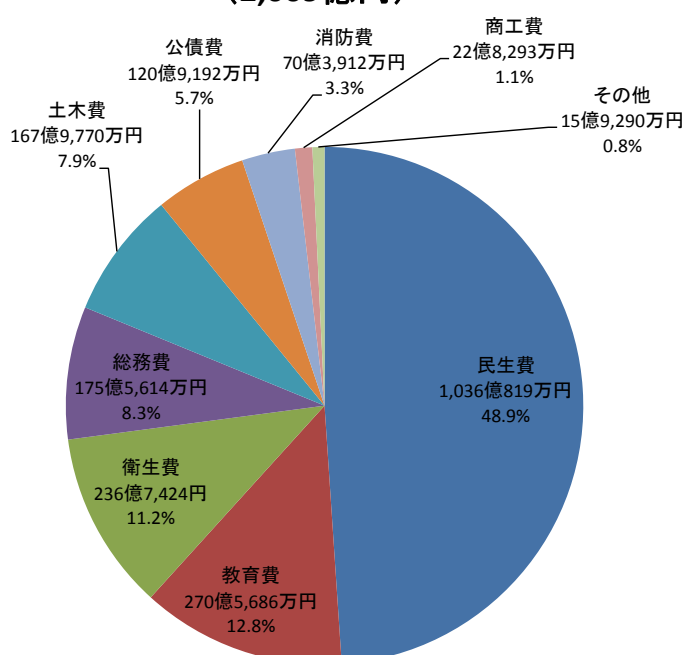
**一般会計予算規模 2,117億円（2,009億円 5.4%）**

（ ）は前年度当初予算額 増減率

**歳入2,117億円  
（2,009億円）**



**歳出2,117億円  
（2,009億円）**



**予算総額 4,153億円（3,986億円 4.2%）**

区分	平成31年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	前年度比	増減率
一般会計	2,117億円	2,009億円	108億円	5.4%
特別会計	2,035億円 9,645万円	1,976億円 5,177万円	59億円 4,468万円	3.0%
合計	4,152億円 9,645万円	3,985億円 5,177万円	167億円 4,468万円	4.2%

## 2 歳入〔一般会計〕

科 目	予算額	前年度比	増減率	主な増減の理由
市 税	912億 2,002万円	13億 6,097万円	1.5%	固定資産税（家屋）、個人市民税（所得割）の増など
国 庫 支 出 金	409億 7,790万円	32億 1,876万円	8.5%	いずみの森小中学校整備、プレミアム付商品券事業による増など
都 支 出 金	287億 8,852万円	17億 93万円	6.3%	介護保険施設等の整備による増など
市 債	199億 2,220万円	59億 8,330万円	42.9%	いずみの森小中学校整備、新館清掃施設の建設、給食センター整備による増など

## 3 歳出〔一般会計〕

科 目	予算額	前年度比	増減率	主な増減の理由
民 生 費	1,036億 819万円	14億 8,933万円	1.5%	障害者自立支援給付の増、介護保険施設等の整備による増など
衛 生 費	236億 7,424万円	6億 318万円	2.6%	新館清掃施設の建設による増など
商 工 費	22億 8,293万円	7億 3,405万円	47.4%	プレミアム付商品券事業による増など
土 木 費	167億 9,770万円	9億 4,010万円	5.9%	マルベリーブリッジの延伸、泉町団地の建替による増など
教 育 費	270億 5,686万円	80億 7,031万円	42.5%	いずみの森小中学校整備、給食センター整備による増など

## 教育・子育て等に関連する新規・拡充事業

区分 新:新規事業 充:拡充事業

NO.	事業名	区分	内容(事業費)	所管課
1	生活困窮者の自立支援	充	【学習支援】(74,681千円) 進学支援を充実するため、学習支援事業における無料学習教室の利用対象者を拡大する。	福祉部 生活自立支援課
2	ひとり親家庭の自立促進	充	【ひとり親家庭学習支援】(7,975千円) 週1回2時間、学習支援者が各家庭へ訪問する学習指導の対象を拡大する。	子ども家庭部 子育て支援課
		充	【ひとり親家庭ホームヘルプサービス】(8,533千円) ひとり親家庭の親が就業の事情により利用できる家事支援の対象を拡大する。 家事支援の対象児童 小学校3年生以下→小学校6年生以下	
		充	【ひとり親家庭親子ふれあい事業】(657千円) ひとり親家庭の児童に対する体験活動の機会を充実する親子ふれあい事業(バスツアー)を実施する。	
3	子育て親子支援	新	【子ども食堂運営支援】(3,840千円) 子ども食堂の運営に必要な食材費、賃借料・会場使用料等の経費(人件費を除く。)を支援する。	子ども家庭部 子どものしあわせ課
4	学童保育所の管理運営	充	【学童保育所施設整備】(344,105千円) 待機児童を解消するため、児童数が増加している地域2か所に学童保育所を新たに整備するとともに、(仮称)いずみの森学童保育所開設に向けて整備工事を行う。	子ども家庭部 児童青少年課
5	国際理解教育の推進	新	【学校企画事業の推進】(10,500千円) 児童・生徒の豊かな国際感覚を育成するため、東京2020大会に向けて各学校が企画提案する「豊かな国際感覚を身に付けることができる」取組について支援を行う。	学校教育部 指導課
		充	【外国語指導助手の配置】(122,828千円) 英語教育の充実を図るため、新たに特別支援学級に外国語指導助手を配置する。	
6	いじめ防止対策	新	【学級集団アセスメントQ-Uの実施】(6,000千円) いじめなどの未然防止及び発生時の迅速な対応を一層強化するため、新たに小学5年生と中学2年生を対象に「学級集団アセスメントQ-U」を年2回実施する。	学校教育部 指導課
7	学力向上	充	【アシスタントティーチャーの配置】(41,882千円) 学習指導の更なる充実を図るため、アシスタントティーチャーを増員する。 アシスタントティーチャー賃金 33人→36人	学校教育部 指導課
8	登校支援ネットワークの整備	充	【スクールソーシャルワーカー活用】(24,591千円) 不登校に関する相談体制の充実を図るため、社会福祉の専門的な立場から家庭訪問等による支援を行うスクールソーシャルワーカーを増員する。 スクールソーシャルワーカー嘱託員報酬 4人→6人	学校教育部 教育支援課

## 教育・子育て等に関連する新規・拡充事業

区分 新:新規事業 充:拡充事業

NO.	事業名	区分	内容(事業費)	所管課
9	学校への日本語指導員の派遣	充	【多言語対応双方向通訳デバイスの導入】(1,064千円) 外国人児童・生徒及び保護者とのコミュニケーションを円滑に行い、学校生活や学習活動に対する不安や適応困難な状況に対応するため、74言語に対応できる多言語対応双方向通訳デバイスを試行的に導入する。	学校教育部 教育支援課
10	教員研修	充	【教員研修】(15,152千円) 教員の各種研修を企画運営する専門のアドバイザーを配置する。また、働き方改革に対応した研修としてサテライト研修を実施する。	学校教育部 指導課・教職員課
		新	【教員のタイムマネジメント力向上】(120千円) タイムマネジメント研修を実施し、教職員の働き方に関する意識改革を行う。	
11	生涯学習の振興	新	【フイーカ・ファシリテーター養成講座講師謝礼】(351千円) 各学校において保護者と学校をつなぐ人材「はちおうじフイーカ・ファシリテーター」の養成講座を開催する。	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課
		新	【出張体験講座の実施】(1,055千円) 子どもたちにスポーツやアウトドア、文化芸術など多様な体験ができる機会を提供するため、小学校へ出張体験講座を開催する。	
12	放課後子ども教室	充	【放課後子ども教室】(184,047千円) 小学校の施設を活用し、子どもたちに放課後や土曜日、夏休み等の安全で安心な居場所を提供する「放課後子ども教室」の実施校を拡大するとともに、既存の実施校の開催日数を拡充し、放課後の居場所づくりを学童保育所との連携により一体的に推進する。	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課
13	歴史を活かした魅力の発信	新	【文化財の継承及び文化財施設の魅力向上】(3,457千円) 文化財の継承について気運醸成を図るため、歴史を活かした魅力を発信する拠点施設の一つである八王子城跡において、子どもと保護者が一緒に参加する体験型のイベントを実施する。	生涯学習スポーツ部 文化財課
14	スポーツ・レクリエーションの推進	充	【東京2020大会に向けた普及啓発】(6,350千円) 東京2020大会に向けた気運醸成を図るとともに、スポーツを始めるきっかけづくりや継続支援を行うため、オリンピックやプロスポーツ選手によるスポーツ教室を、種目と定員を拡大して実施する。	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課
15	総合型地域スポーツクラブの活動支援	充	【総合型地域スポーツクラブ活動環境整備】(1,438千円) 総合型地域スポーツクラブの活性化を図るため、情報交換会や講習会を開催するとともに、クラブ未設置の地域に対し、チラシ配布などの情報提供を行い、クラブ設立に向けた周知活動を行う。	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課
16	読書のまち八王子の推進	充	【地区図書室の図書館化】(42,631千円) 図書館から離れた地域の利用者の利便性向上を図り、身近な読書環境を実現するため、石川市民センター及び由木中央市民センターの地区図書室を図書館として整備する。	図書館部 中央図書館
		新	【ブックポスト設置】(2,556千円) 本を返却しやすい環境を整備するため、市内の駅周辺にブックポストを増設する。	
17	地域づくり推進	新	【地域づくり推進】(5,500千円) 学校をはじめとした公共施設の再編について、中学校区を基本とした地域で検討を進めるため、市と教育委員会の考え方をまとめた方針を策定する。また、公共施設再編の取組を契機として、地域で課題を共有し、解決していく「地域づくり」を推進する。	都市戦略部都市戦略課 総合経営部経営計画第二課 財務部資産管理課 学校教育部学校教育政策課